

令和元年度 区政会議における意見への対応状況

第1回区政会議(令和元年6月18日)

いただいた意見				対応状況						
番号	部会	意見	委員名	①		②		③	④	対応内容 (③④の場合は、対応できない具体的な理由)
				令和元年度 対応	予算 措置	令和2年度 対応	予算 措置	2年度では 対応でき ないが今 後引き続 き検討	対応困 難 又は対 応不可	
1	にぎわい・きずな	非常時の防災スピーカーは、聞き取りにくい。また、安全パトロール車のアナウンスも、音量が小さい。近所迷惑という抗議もあると思うが、聞き取れる音量にしてほしい。 災害時の区内小中学校の休校情報をどのように入手すればよいか知りたい。	藤溪委員ほか2名 〔井上委員、吉谷委員〕	○	なし	○	なし			防災スピーカーおよび安全パトロール車については、今年度中に性能向上が図られ、聞き取りやすくなる予定です。防災スピーカーはデジタル化、安全パトロール車は高出力放送設備に変更します。 都市部においては、遮音性の高い住居や高層建築物の増加、また、雨風等の気象状況によっては、音が伝わりにくい状況が続く可能性もあります。 テレビやラジオ等から情報を収集いただくとともに、東成区においては、区HPやLINE@、ツイッターなどの多様な情報伝達手段を用いて、区民の皆様へ災害情報を伝えます。 災害時には、各学校から保護者へのメールや電話連絡が優先されますが、区内小中学校の休校状況については、各学校HPで公開されます。
2	にぎわい・きずな	小学校の避難所開設について、昨年初めての経験となったが、多数の避難所で準備ができていなくて困ったという報告があった。 ある地域では避難者40名に対し、準備がゼロに近い状況で対応できなかった。避難所に備蓄しないといけない物品の優先順位があれば、区から提供していただけないか。	藤溪委員	○	あり	○	なし			昨年、台風24号の近畿地方最接近に伴い、東成区では各小学校を避難所として開設しましたが、避難勧告等が発令されない中、自主的に避難される方を受け入れるための開設であったため、事前に食料・水などを用意していただくよう案内しました。 また、各災害時避難所には必要最小限の物資しか備蓄していないことから、東成区としては、1週間以上の食料や常備薬、非常持ち出し品を日頃から備えておくよう、啓発しています。 なお、昨年の避難所開設の経験から、テレビやエアマットなどを新たに配備し、避難所能力の強化を図っています。
3	にぎわい・きずな	「市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化」事業について、11連合中8連合が取り組んでおられるということなのだが、こうした取り組み状況を広報等で知らせていただけないか。	藤溪委員	○	なし	—	—			市民協働による地域課題解決に向けた活動の活性化事業について、今年度は9地域で取り組みが行われています。 取り組み内容については、区のホームページなどを通じ広報する予定です。
4	にぎわい・きずな	「東成区の地域資源」魅力発信の取り組みについて、モノづくり体験フェスタをはじめ、親子対象での非常にいい取り組みなので、今後継続してはどうか。	藤溪委員ほか1名 〔井上委員〕	○	あり	○	あり			モノづくりを中心とした地域資源を次世代の担い手である子どもたちに伝えるための機会として、体験型イベント「東成こどもモノづくり体験フェスタ」等を開催する予定です。
5	にぎわい・きずな	防犯カメラは、たくさん付けていただいているので、犯罪防止の抑止力になっているのではないかと。今後も継続して設置して欲しい。	藤溪委員ほか2名 〔吉谷委員、吉本委員〕	—	なし	—	なし	○		これまで、区内各小学校にこどもの見守りカメラとして設置してきたほか、公園や道路については警察の犯罪発生状況等をもとに、また通学路については地域状況を考慮して、防犯カメラを設置してきました。 今後も東成区としては、限りある予算の中で警察や地域と連携を図りながら、地域状況に応じた様々な防犯活動に取り組んでいきます。
6	子ども・教育	外国人の転入に関わって、委員から様々な課題(住居、教育、コミュニティー等)についての意見が出された。 区ホームページでは外国人住民の主な国籍別人数はわかるが、小・中学生の人数などは出ていない。個人情報など難しいとは思いますが、できる範囲で教えていただきたい。	田中委員ほか3名 〔末光委員、東方委員、永門委員〕	—	なし	—	なし			個人情報の特定に繋がるため、大阪市では外国籍の小・中学生の人数データを公表していません。また区としても把握しておりません。

※番号1～5は、勉強会としていただいた意見を掲載

令和元年度 区政会議における意見への対応状況

第1回区政会議(令和元年6月18日)

いただいた意見				対応状況						
番号	部会	意見	委員名	①		②		③	④	対応内容 (③④の場合は、対応できない具体的な理由)
				令和元年度 対応	予算 措置	令和2年度 対応	予算 措置	2年度では 対応でき ないが今 後引き続 き検討	対応困 難 又は対 応不可	
7	保健福祉	<p>おまもりネットについて、普及に向けて半強制とまではいかなくても積極的な介入というか、もっと伝えていった方がいいのではないかな。</p> <p>登録数を多くしても後のメンテナンスというか、情報が陳腐化してはいけないので、そのフォローにあたり、地域活動サポーターの負担をどうしていくかが課題である。</p>	石塚委員ほか2名 [大谷委員、本間委員]	○	あり	○	あり			<p>東成区では、高齢者の方へおまもりネットや地域福祉活動の普及啓発を行っており、本年11月には、新たに70歳になられた約1,200人の方にご案内(チラシ等)を送付しました。</p> <p>今後もこれに合わせ、敬老会等の地域イベントや各地域での出前講座、各種講演会の場等でも引き続き周知してまいります。</p> <p>ご指摘のとおり、新規登録を図る一方で既登録者の記載情報の更新も重要となります。地域福祉活動サポーターの負担を考慮し、各地域のふれあい喫茶等の際に「おまもりネット相談(更新)会」を実施するなど、効果的・効率的なフォローに努めます。</p>
8	保健福祉	<p>健康づくりに関する取り組みを、比較的若い世代にどのように伝えていくか、仕事をしているためなかなか出席できない、それでもチャンスがあれば出席したいと思っているという意見があった。</p> <p>今後、若い世代にどのようにアプローチしていくのかは、一つの課題である。</p>	石塚委員ほか2名 [岡倉委員、林委員]	○	あり	○	あり			<p>今年度は、若い世代の集まるイベントでの骨粗しょう症検診の実施を企画し、若い世代の受診者増加を図る予定です。</p> <p>次年度は、健康づくり講演会も土日に開催し、子育て世代の集まる場での開催も検討しています。</p> <p>小さい単位であっても若い世代が健康に関心を持ってもらえるような機会を増やしていきます。</p>
9	保健福祉	<p>地域との関係が希薄な男性が、地域でのつながりをどのように構築していけばよいかについて、将棋に取り組んだり、子どもたちと一緒に楽しんでいる地域もあるようだ。そのあたりが突破口になるのではないかな。</p>	石塚委員ほか1名 [下村委員]	○	あり	○	あり			<p>東成区の各地域では、将棋や囲碁に加え、男性が運営するふれあい喫茶や調理実習など、男性が参加しやすく参加者同士の交流が深まる活動が新たに増えてきています。</p> <p>このような地域の取組みが広がり、また、さらなる男性の参加を促進するため、東成区においても広報等で積極的に情報発信していきます。</p>
10	保健福祉	<p>百歳体操について、18会場21グループで様々に取り組まれているとのことだが、あくまで住民主体でと少し突き放されているようにも感じる。</p> <p>地域の人が多く頑張っていれば応援していただき、市が積極的に進めるのであれば、保険等も少し考えていただきたい。</p>	石塚委員ほか4名 [石川委員、徳永委員、三枝委員、羽鹿委員]	○	あり	○	あり			<p>いきいき百歳体操は、各会場で自主的に運営されているところですが、区役所では立ち上げ時の支援に加えて、健康運動指導士等を派遣した体力測定や体操の定期的な技術指導等の継続支援を行っています。</p> <p>保健師も各会場で年2回以上の技術支援や年1回のグループ合同交流会を開催し、グループ間の交流を促すとともに各グループ主催者のモチベーションの維持・向上にも取り組んでいます。</p> <p>参加者のモチベーション向上のために、希望者には参加状況が一目でわかる百歳体操手帳の配布も行っています。新たな参加者確保のために、健康展等イベント開催時に積極的な周知・啓発にも取り組んでいます。</p> <p>大阪市では、百歳体操の運営サポーター・ボランティアの方を対象として「大阪市民活動保険」に加入しており、百歳体操の運営中にご自身に万が一事故が起きてしまった場合の補償は対応しています。</p> <p>一般の参加者の皆様においては、大阪市民活動保険の対象外であるため、参加者ご自身やグループ単位で別途保険に加入される等のご検討をお願いしています。</p>

※番号1～5は、勉強会としていただいた意見を掲載